

共に構内を歩きました キャンパスの今

が進行中の名城大学。

にそれぞれ待望の新しい研究棟が完成しました。

現役学生の案内で新キャンパスの見学ツアーを開催。

新緑のキャンパスを歩きながら、若かりし学生時代に思いを馳せ、
深めつつ、とても有意義な一日を過ごしました。

理工学部OB × 現役学生

石川 豊さん
(理・建・S47年卒)
(建築同窓会)

嶋出 梓さん
(理・建・4年生)

小林 信之さん
(理・土・H8年院卒)
(土木会)

鶴留 大輔さん
(理・建設システム工学科
※現 社会基盤デザイン工学科・4年生)

理工学部・研究実験棟IIを訪れたのは、建築同窓会・理工同窓会の役員を兼任している石川さんと、土木会に所属しながら現在大学の居合道部で監督を務める小林さんです。他のOB・OGに比べると今も大学との縁が深い2人ですが、新研究棟をじっくり見学するのは初めてということで今回楽しみにしていたそう。



天白キャンパスのニューフェイス

理工学部・研究実験棟II

4号館から移設した4学科と
新設2学科の新たな研究拠点

4号館南(塩釜研究棟A・B跡地)に完成。地下1階、地上4階、延べ床面積1万9980㎡、建築面積5957㎡、高さ20mの低層構造で、中央の吹き抜け空間を囲むように各階に研究室や実験室を配置。全学科共用の大型重量実験棟も完備し最新の実験・研究設備を誇る。正面入口には学生・教職員・卒業生の連携を表す3つのアーチをデザイン。

特集

卒業生と学生が、 理工・薬学部

キャンパス再開発計画

昨年11月に薬学部、そして今年3月には理工学部
そこで今回、理工・薬学部それぞれの卒業生を招き、
6月初旬の梅雨の晴れ間の日曜日、4人の卒業生が集まり、
また学生たちと世代を超えた新旧の交流を

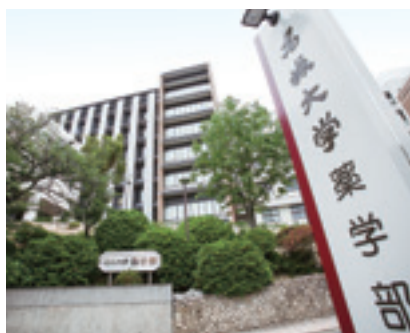
薬学部OB × 現役学生

近藤 沙和美さん
(薬・薬 6年生)

濱崎 光哲さん
(薬・製薬・H元年卒)
(薬学同窓会)

吉田 将之さん
(薬・薬 6年生)

播磨 佐知子さん
(薬・薬 薬学専攻修士課程)
(S58年卒・薬学同窓会)



高度な研究機能を備えた新キャンパス 薬学部・八事新2号館

国家試験合格率100%※
高度な薬学教育を支える新学舎

地下2階、地上6階建て。化学系・生物系・物理系研究室に加え、RI実験施設など国内トップクラスの実験施設や分析センターを完備。地上2～6階には教員・学生の研究室や実験室を配置。ほかエレベータホールには実験施設名や研究室名とともに実験器具や化学構造式をモチーフにしたイラストが施されるなど、デザイン性にも富む。

※6年制課程卒

薬学部・八事新2号館を訪れたのは、薬学同窓会の濱崎さんと播磨さんです。播磨さんの研究室があった5号館は解体工事中でしたが、6号館の教室は当時のまま今も残っています。「6号館にあった食堂、何て名前だったかしら」と言うと、学生から『樹里庵』なら現在1号館2階にあると教えてもらい、懐かしそうにしていました。

めぐる新キャンパス

理工学部
研究実験棟Ⅱ
キャンパス見学

1 階別棟大型重量実験棟



コンクリートの
実験機ですね

機械の一部は
今も4号館にあります。
建物が新しくなっただけで
実験や分析機械、資材、測量機
などは今まで使っていたものを
大事に使っています。

4号館の構造耐震実験室で行っていた高度制震実験などの大型機械を使った実験が可能に。名古屋でもトップクラスを誇る実験施設。

4 階演習室

資材選びから
デザイン、図面、
製作まで自分たちで
やりました！



机も本棚も
今どきの感性が
素晴らしい！

研究実験演習室の標準的な広さは50㎡。写真は建築学科456学生実験演習室で机や壁一面にレイアウトされた本棚はゼミの先輩たちによる手作りだそう。

エントランスホール



今は採光も
よく気持ち
いいですね。

3号館と4号館、奥に
法商学部と1号館かな。
当時はまだ敷地全体が
閑散としていたん
だよな。

カフェスペースも
あるんですよ！

石川さんが
いらした当時、
4号館以外には
どんな建物が
ありましたか？

ガラス張りを多用し開放的。正面には共有スペースも。
向かって右手の壁には名城大学全学部を刻んだプレートが掲げられている。

4階制作室～廊下



制作室も昔は
机に機械が備え
付けてあったのに、
ずいぶんすっきりと
しましたね。

写真左は制作室。各階2室ずつあり4階は建築学科が使用。

研究実験棟Ⅱ 見学レポート

まずは建築学科・嶋出さんの研究室に向かった二行。エレベータで4階に上がると、中央の吹き抜け空間を囲む回廊形のフロアに教員用、学生用の研究室や演習室が連なっています。4号館の頃に比べ「間取りが広くなり快適になった」（鶴留さん）という学生用研究実験演習室。「古い学校の教室みたくだった」（嶋出さん）という内観もガラス張りを多用した明るく開放的な空間に様変わりしました。学科やゼミごとにそれぞれカラーも見られ、とてもクリエイティブな印象を受けます。41年前に同学科を卒業した石川さんは「今の研究室はこんなおしゃれなの？」と目を丸くさせ、学生たちのセンスに感心しきりの様子でした。続いて各階に設けられた制作室や、新たに誕生した学科共通の大型重量実験棟も見学。土木科出身の小林さんはコンクリートの実験機を見て「建物や館内など環境そのものは新しくなりましたが、実験や分析に使う機械や資材は昔のままなんです」と懐かしそうに見つめていました。

館内はもちろんキャンパスを散策中もOBから学生、学生からOBへと積極的に質問し語り合っていた4人。その様子はおよそその日が初対面とは思えないほど和やかで、同じ学部、同じキャンパスで研究に励んだ者同士、世代を超えた同窓の絆のようなものが窺えました。

VOICE

キャンパス見学を終えて ～卒業生の声～

建物自体も館内や研究室の備品一つとっても我々の頃とは大違い。正直スタイリッシュ過ぎて「これが名城の理工学部建築学科なのか！」と驚きましたが、嶋出さんのような意匠性の高い研究をしている学生にとってはとても刺激的で感性が磨かれる素晴らしい研究環境になることでしょう。カフェやロビーもかっこよくうらやましかったですね。将来彼らが社会で活躍される日を楽しみにしています。

理工学部 石川さん



見学でご一緒した石川さんが4号館竣工の年、学生2人が最後の年、そして僕は4号館の歴史の真ん中あたりに在籍していたんだな、と分かり、理工学部キャンパスの歴史に重ね合わせて考えると非常に感慨深いものがありました。新研究棟は外観や館内のデザイン性もちろんですが研究・実験施設の充実ぶりも圧巻でした。素晴らしい環境で後輩の皆さんにはより一層がんばっていただきたいですね。

理工学部 小林さん



キャンパスの再開発計画

環境が新しくなり、
今まで以上に研究に
打ち込めるよう
になりました



完成
八事新1号館が

完成
共通講義棟北が

完成
共講義棟（南）
が完成

完成
共講義棟（南）
の建設着工

2006年12月

2005年5月

2002年11月

2000年11月

from >>>
法学部同窓会60周年記念事業を
実施します

昭和28年に誕生した法学部同窓会が60周年を迎えました。これを記念して、11月24日(日)に記念式典を開催します。

法学部同窓会
創立60周年記念事業

●日時

平成25年11月24日(日)

●場所

ホテル名古屋ガーデンパレス

※詳細は法学部同窓会の同窓会だよりをご覧ください。

名城大学建築学科・
同窓会設立の節目に
MEIJO
ARCHITECTURE 65/50
大交流会from >>>
建築同窓会

名 城大学建築同窓会は、学科65周年・同窓会設立50周年という節目を記念して、平成25年3月23日、名城ホールにてトークセッションを軸とした「MEIJO ARCHITECTURE

65/50大交流会」を開催しました。一般にも開放されたこの試み、世界にまたがり、分野を越えた話が多く、名城大学発の多彩な可能性をアピールする場となった

65/50大交流会を開きました。その思いは「2万人を超える同窓生たちをつなげたい」です。もちろん、皆それぞれに、同級生・同窓生との付き合いはあるわけですが、こんな時代だからこそ、世代を超えた、さらなるつながりに発展するような企画といたしました。全体で4時間以上にもおよんだプログラムでは、前半・後半あわせて15人のOB・OGがトークに参加。建築のみならずアートやデザイン分野に進出した人々も、大学の学びを糧とし仕事に生かしていることを話してくれました。一般にも開放されたこの試み、世界にまたがり、分野を越えた話が多く、名城大学発の多彩な可能性をアピールする場となった



MEIJO ARCHITECTURE 65/50 大交流会実行委員会代表 谷田 真(7年卒)

に違いないと感じています。今後も建築同窓会は、多くの同窓生が緩やかにつながっていく状況を創出するため、同様な企画を断続的に催す予定です。いずれこのような企画が、同窓生の中で定着し、地域の中で恒例行事として認知されることを目指していきます。

from >>>
都市情報学部「WEB総会」を11月に開催
詳細はWEBサイトに掲載します

©2013 Ustream, Inc. All rights reserved

都

市情報学部同窓会は、ホームカミングデーを開催しない年につきましては、遠方にお住まいの方にもご参加いただけるよう、インターネット生中継を併用した「WEB総会」を試験的に行っております。今年度はホームカミングデーを開催しない年であるため、現在、平成25年11月14日(木)開催に向け、WEB総会の準備を進めております。詳しくは都市情報学部同窓会のWEBサイトに掲載いたしますので、是非そちらをご覧ください。

■都市情報学部同窓会HP

<http://www.meijo-dousou.com/>

from >>>
経友同窓会青年部会の
親睦会を開催しました

経 友同窓会青年部会では、定期的な委員会や女子会を経て、平成24年11月18日(日)、句蔵 名駅店にて親睦会を開催しました。20代・30代の卒業生・在学生等53名が参加、ランチを楽しみながら交友を深めました。また、ゲーム「名前ビンゴ」や勝抜きジャンケン大会等により、相互の親睦を図りました。



電気会創立

50周年記念行事が

盛大に行われました。

1月27日(日)に、名城大学電気会創立50周年記念行事が開催されました。と集まった参加者は、217名でした。電気会50周年記念式典実行委員会は、2年前に、

5つの委員会(総務委員会、記念誌委員会、企画委員会、行事委員会、講演会委員会)を発足。この日のために準備をすすめてこられた役員たちの熱意が会場に伝わり、午後4時から鼓の間に

続いて記念式典が同じ会場で開催されました。神田実行委員長のおいさつに始まり、理事長、学部長あいさつと続きました。その後、電気会に功労のあつた方へ渡辺会長より感謝状と記念品贈呈がありました。対象者は電気会役員を代表して神田実行委員長に授与されました。名城大学小笠原理事長、電気電子工学科多和田学科長に寄付金が、渡辺会長より手渡されました。

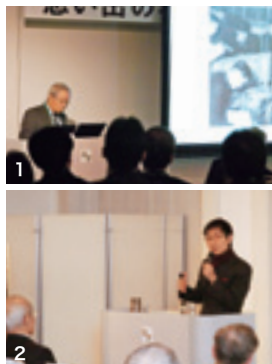
いただきました。

午後5時から鼓の間に

記念講演としてCBCアナウンサー小堀啓様にご講演をいただきました。

「ほう！そう！放送裏話」うあれやらこれやら40年というタイトルの、40年という長きにわたって放送業界で活躍のアナウンサーならではの興味深い裏話をユーモアたっぷりで話してくださいました。

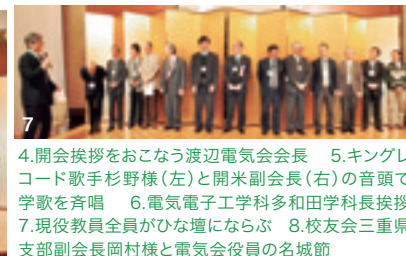
続いて記念式典が同じ会場で開催されました。神田実行委員長のおいさつに始まり、理事長、学部長あいさつと続きました。その後、電気会に功労のあつた方へ渡辺会長より感謝状と記念品贈呈がありました。対象者は電気会役員を代表して神田実行委員長に授与されました。名城大学小笠原理事長、電気電子工学科多和田学科長に寄付金が、渡辺会長より手渡されました。



1.写真解説をおこなう米澤先生
2.記念講演をおこなう小堀アナウンサー
3.記念式典風景

役職等	氏名
電気会会長	神田 善郎
電気会会長	岩室 隆
電気会会長	伊藤 栄
学内幹事	池田 晋
学内幹事	河村 英昭
学内幹事	河村 一
学内幹事	大江 俊美
学内幹事	米澤 彰賢
学内幹事	鳥居 甫吉
学内幹事	山崎 初夫
電気会副会長	水野 光雄
電気会副会長	田中 祥弘
電気会副会長	葛西 栄吉
電気会副会長	諸戸 勤
電気会副会長	河邑 秀康
電気会副会長	開米 和明
電気会副会長	松野 一彦

電気会功労者



4.開会挨拶をおこなう渡辺電気会会長 5.キングレコード歌手杉野裕二様(左)と開米副会長(右)の首頭で学歌を斉唱 6.電気電子工学科多和田学科長挨拶 7.現役教員全員がひな壇にならぶ 8.校友会三重県支部副会長岡村様と電気会役員の名城節

きな声で斉唱しました。歓談の途中では、理工学部後援会、大学の先生方、OBの先生方、50周年記念行事委員長、校友会、電気会のメンバーなどから自己紹介とご挨拶を頂きました。また、歌手杉野裕二様に、オリジナル歌を始め皆さまがよく聞いたところがある歌を10曲程度歌唱して頂き、歓談の時間がない程の好評でした。

参加者へ配られた立派な50周年記念誌は、記念誌委員会の皆さんが数年前より準備され完成した記念品で、米澤先生はじめとして諸先輩の多くにご指導をいただき完成されました。その紙面は充実し一生の記念として後世に残るものとなりました。電気会創立50周年記念行事を前に、出席された皆さまは、同僚・先輩・後輩・其々の会社の電気会の皆さまをお誘いして頂くお骨折りをいただき盛大な式典が催されたことは感激であつたと参加された諸先輩よりお話がありました。今後とも60年、100年と、長きにわたる電気会の繁栄を祈念したいと存じます。各位におかれましては、引き続きよろしく、お引き立てのほど、よろしくお願い申し上げます。

会場を明倫の間に移して記念祝賀会が盛大に行われました。総参加者217名、一般142名、来賓28名、役員22名、大学院生4名、OB教員5名、教員16名、記念祝賀会は、名城大学在学中の津軽三味線奏者 杉山大祐さんの演奏で始まりました。電気会渡辺会長の開会の御発声ののち、名城大学学歌を名城大学出身のキングレコード歌手杉野裕二様と開米副会長に音頭を取って頂き大

科学科長の呼びかけで、電気電子工学科のOB教員がひな壇にならび、それぞれご挨拶を賜りました。その後、現任教員全員がひな壇に並び、代表で、下山前学長のご挨拶を賜りました。校友会三重県支部副会長岡村様(第13代応援団長)と電気会役員が壇上に上り、名城大学の応援歌を斉唱し大変盛り上がりしました。最後に、副会長の開米様に張り切って締めを行って頂きました。



津軽三味線奏者杉山大祐さんと役員の皆さま

同窓会だより

Event Schedule

法学部同窓会

> P25 -26

■名城大学法学部同窓会ホームページ

<http://meijo-hougakubudousoukai.com>

法学部同窓会 創立60周年記念事業

- 日 程：平成25年11月24日(日)
14:00～18:00
- 会 場：ホテル名古屋ガーデンパレス
- 参加費：5,000円(卒業後10年以内は1,000円)
- 申込方法：同封のハガキでお申込みください
※平成25年10月25日(金)までに投函ください
- 内 容 (都合により変更となる場合がございます)
- ① 式典 14:00～14:40
司会 伊藤友香アナウンサー(法・法・H12年卒)
式典・功労者表彰
- ② トークショー 14:40～15:40
司会 中部日本放送 若狭敬一 アナウンサー
出席者 中田ドラゴンズ/英智コーチ、清水昭信、
山内壮馬、森越祐人各選手
- ③ 懇親会 16:00～18:00
三味線演奏・抽選会等

経友同窓会

> P27-28

■名城大学経友同窓会ホームページ

<http://www.meijo-ob.com/keiyudousoukai/>

経友同窓会青年部会 平成25年 親睦会「絆プロジェクト」

若手卒業生(20代・30代等)や女性卒業生を中心とした一層の交流を図るため、下記のとおり、親睦会を開催いたします。

- 日 時：平成25年10月27日(日) 11:30～13:30(11:15～受付開始)
- 会 場：レストラン ツキダテ
- 対象者：先着100名程度 経友同窓会会員(商学部・短期大学部・経営学部・経済学部の卒業生)
準会員(経営学部・経済学部の在学生)
- 内 容：ランチ会、ゲーム、その他
- 会 費：会員1,500円、準会員1,000円
- 申込方法：「卒業年月(例：H14年3月、在学生は学年)、学部学科、氏名、氏名フリガナ、
年齢、性別、電話番号、PCメールアドレス、携帯電話メールアドレス」を明記し、
Dokeiyu@gmail.com 宛に電子メールでお申込みください。

理工同窓会

> P29-32

■名城大学理工同窓会ホームページ

<http://www.meijo-rikou-dousoukai.jp/>

平成26年度 理工同窓会 総会・講演会・懇親会

- 日 時：平成26年6月15日(日)
- 会 場：名城大学天白キャンパス 共通講義棟南館
- 内 容：①各学科同窓会総会 9:30～10:20
②理工同窓会総会 10:30～11:20

※詳細は理工同窓会ホームページを参照ください。

農学部同窓会

> P33-34

■名城大学農学部同窓会ホームページ

<http://meijo-ob.com/nou-ob/>

平成25年度 農学部同窓会総会

- 日 時：平成25年11月10日(日) 総会 /11:00～
交流会/12:30～
- 会 場：総会 /名城大学名駅サテライト(MSAT)
交流会/北京料理 百楽名古屋
- 会 費：3,000円

薬学部同窓会

> P35-36

■名城大学薬学部同窓会ホームページ

<http://www.meijo-yaku-ob.jp/>

第11回 薬学部同窓交流会

- 日 時：平成25年10月6日(日) 17:00～
- 会 場：ウェスティンナゴヤキャッスル「天守の間」

※詳細は薬学部同窓会ホームページを参照ください。

都市情報学部同窓会

> P37

■名城大学都市情報学部同窓会ホームページ

<http://www.meijo-dousou.com/>

平成25年度 都市情報学部同窓会 WEB総会

- 日 程：平成25年11月14日(木)
- 会 場：都市情報学部同窓会ホームページ

※開催時間は、決まり次第ホームページにて掲載します。

人間学部同窓会

> P38

■名城大学人間学部ホームページ

<http://wwwhum.meijo-u.ac.jp>

平成25年度 人間学部 3年会

- 日 時：平成25年10月12日(土) 19:30～21:30(19:15～受付開始)
- 会 場：名古屋駅を予定
- 対象者：2011年3月に卒業された方、または2007年4月に入学された方
- 連絡先：meijo.hs.dsk@gmail.com(同窓会メールアドレス)

会長
メッセージ理工同窓会
50周年を記念して

名城大学理工学部9学科同窓会会員の皆さまにおかれましては、益々ご活躍の事とお喜び申し上げます。また、平素から同窓会活動にご理解並びにご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度・本年度と理工学部各学科同窓会は創立50周年、20周年、10周年を迎えて其々活発な啓蒙運動記念周年事業等を開催し、同窓会員の皆さま方のより一層の友情団結結束を確認し合い、名城大学卒業生であることの誇りと自覚をより高めていただいている事は、本当に喜ばしい事と思っているこの頃でございます。

特に50年以上も続く同窓会組織というものの歴史の重みとその道のりにあつては、卒業生の皆さま方の並々ならぬ情熱と努力と名城大学への奉仕の心がなければ現在に至っていないと私なりに感じています。

さて、大学外では一昨年の東北地方の災害、特に「原発施設」の破壊による自然界への影響は、日本人の不安感をより一層高めているにも関わらず、その解決・処理方法さえままならないのが現状です。また、国内の政治情勢についてみれば、国民政治、世界各

国への外交活動・経済政策に至っては、全くの日和見便法で国民生活を窮地に追い込んでしましました。特に「尖閣列島問題」への対応等は、私のような政治音痴な者でも、中国にしたたかに先手を取られてしまっている事がわかります。しかしこのような事態のときでも、冷静に挫けずに耐えて行動するという国民の考え方が、今では「アベノミクス」効果に示すように明るい兆しを見せ始め、

本年の春闘では15年ぶりの賃金上昇が発表され円安・株高で市場が好転し始めている今日この頃です。

一方大学内においては、数年後に90周年・100周年を迎えるにあたり、数多くの事業準備が着々と進んでいます。例えば「名城大学の創造期の学内紛争問題、粗末な施設からの脱皮等は、もとをたせば理工学部創設期と時を同じくし、その解決に全身全霊をかけて努力を惜しまず情熱を持って正道を歩んでくれた理工学部卒業の大先輩方の、名城大学を愛する姿勢が、「伝統」として私たち「名城大学理工同窓会」に受け継がれています。この「伝統」が今の総合大学「名城大学」の源であると自負してやみま

せん。前にも記したように、大学外でどのような事があるうとも理工同窓会は、過去の厳しい経験と努力を忘れずに行動している事が、他の大学と一線を画して発展している証であると信じてやみません。

具体的には平成25年度から理工学部は発展的な変身を始めた。新しく「応用化学科」「メカトロニクス工学科」が増設された。4年後には理工同窓会も11学科同窓会という大所帯になります。例えば私が4年生の頃ですが、理工学部の中村校舎から昭和42年に太白キャンパスに移転したのを初めてとして現在に至っています。その後48年たった今、理工学部施設が近代化の最先端を行く設備と人材を持った施設へと再生されつつあります。

50周年を迎えた名城大学理工同窓会は、大学と学生諸君と私たち卒業生のために、献身的な活動をしていくことをお誓い申し上げます。今後とも皆さま方のご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。



理工同窓会会長
岩崎 征一
(理・建・S42年卒)

名城大学 理工同窓会

発足(昭和37年)當時を
振り返る



昭和30年代の中村校舎

手前右端は学生食堂、左端は事務室・図書館分館、奥の平屋の左は電気工学科の研究室、中央にあるのが弱電実験室、右に化学実験室があった



庄内川の堤防から見た中村校舎

昭和24年に、名古屋専門学校から名城大学となる



中村校舎全景

中村校舎は、昭和14年から、太白へ移転する昭和41年まで利用された

理工学部

当時の校舎の渡り廊下は、雨漏りがしていた



理工同窓会の 皆さまへ



理工学部長
吉久 光一

理工学部卒業生の皆さま、こんにちは。皆さま方には、日頃から理工学部の運営にご理解、ご協力を頂いておりますこと、心からお礼申し上げます。

安藤義則前学部長の後任として、平成25年4月1日付で理工学部長に就任しました。吉久光一です。専門は建築で、環境計画を担当しています。もとより微力ではありますが、引き続き、学部の発展、充実のために全力を傾注して重責を果たす所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。

理工学部は、念願でありました学部再編が実現し、平成25年4月から新たなスタートを切りました。この再編については昨年の会報で安藤前学部長から詳細に報告されていきますから、ここでは、要点だけを4つ挙げて頂きます。一つは新たに2つの学科を設置したこと。これまで理工学部は9学科の構成でしたが、社会の要請に応じて平成25年4月、「応用化学科」と「メカトロニクス工学科」を設置し11学科の構成となりました。いずれも時代の先端を行く教育研究分野です。

2つ目は、学科のリニューアルで、教育内容の改善に加えて学科名称を「機械システム工学科」が「機械工学科」、「建設システム工学科」が「社会基盤デザイン工学科」に変更しました。3つ目は、入学

試験制度の変更です。これまでは、新入生の3割を工学系に、残る7割の新入生をそれぞれの学科に入学させるという部分的な系入試制度を採用しており、工学系に入学した学生は2年生進級時に学科に配属されるシステムでした。今回、系入試を全面的に廃止し、すべて学科募集に統一しました。4つ目は、カリキュラムの大幅な改正です。昨年度までは、系入試があり専門科目は2年生以上のカリキュラムに配置されていましたが、今回の改正で1年次から最新の専門分野の教育ができるようになりました。

これらの学部再編と共に、もう一つ大きな報告があります。それは、天白4号館の研究室と実験室、そして1年生が受講する教養教育の物理学実験、化学実験、地学実験などの実験室の機能を備えた「研究実験棟Ⅱ」が完成したことです。この建物には、理工学部の約半数の教員が移りましたが、地下1階、地上4階、延べ床面積が19980㎡の建物で、最新の教育研究設備が整っています。

以上のように、理工学部はソフト・ハード両面で大きく変わりました。理工学部としては、念願の学部再編が実現し、また新しい校舎が完成したことで、新たな想いで教育研究に励んでいるところ。ただし、これらの変化を社会や受験生に、どのように受け入れてもらえるのかが大変に気になるところで、まだスタートしたばかりで、社会からの評価が定着するのは先のことですが、今年度25年度の理工学部入学試験の出願者数は大幅に増加しました。前年度に比べて27%のアップです。この数値は、理工学部の再編が社会で高く評価されたことを示す一つのデータと判断して良いと思います。今後は、この社会の期待を裏切ることのないように、4年後の完成年度に向けて再編を実現、定着させていくことが最重要の課題と認識しています。

さらに理工学部にとつて嬉しいニュースがあります。それは、「自然災害リスク軽減研究センター」が本年5月に設置されたことです。この研究センターは、文部科学省の平成24年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に、本学の「21世紀型自然災害のリスク軽減に関するプロジェクト」が採択され、その実施母体として設置されたものです。代表者は社会基盤デザイン工学科の小高猛司教授で、本学の19名の教員が参画しています。研究の対象は、迫り来る地震災害や近年頻発する流域圏の水害、土砂災害で、社会資本の老齢化や被災者の自立再建なども研究テーマに取り入れています。

以上、理工学部の近況をご報告させて頂きました。現在、理工学部には179名の教員が所属していますが、それぞれの教育研究に励んでいます。卒業生の皆さま方には、引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げまして、筆を置かせて頂きます。

名城大学理工同窓会 総会・記念講演会・懇親会の御報告

名城大学理工同窓会の第50回総会が平成25年6月16日(日)に名城大学天白キャンパス共通講義棟南館S201教室にて開催されました。梅雨の季節ですが前日の雨模様とうって変わり、朝から真夏を思わせる強い日差しの下汗をかきかき名城坂を登って大勢の方に御参加いただきました。

皆さまのお陰を持ちまして総会も盛大に開催され、全ての議案が審議され承認され、無事終了致しました事に役員一同心より感謝しております。当日は総会終了後記念講演会、懇親会が次第のとおり実施されましたので御報告いたします。

①理工同窓会総会 [10:30~11:20]

②記念講演会 [11:30~12:45]

講師:名城大学理工学部 交通機械工学科教授 村上好生様

「名城大学チームが省エネカーレースに参加して25年
2,000km/Lの記録を達成して」

③懇親会 [13:00~14:30]

タワー75 15階 レセプションホール

理工同窓会総会は定刻通り学内幹事の新井先生の司会で始まり、冒頭岩崎会長より御来賓の皆さま並びに会員の皆さまに御参列いただいたことへのお礼の言葉と共に今後も同窓会活動への御理解と御支援、御協力を賜りますようお願いがありました。

理工同窓会の活動において「絆を深めよう」を基本方針とし、各学部同窓会、校友会(各支部)、理工学部後援会、名城大学との情報交換や行事への参加を通じて「絆を深めよう」を行ってきた事と、今後も役員一丸となって積極的に活動を進めていく事を報告されました。また、今年5月に開設された名城大学自然災害リスク軽減研究センターの開設と研究実験棟Ⅱの紹介もありました。

その後来賓の方々の紹介と御挨拶があり、小林副学長からは名城大学の現状と今後の方針、トピックスとして国際化社会への対応を重視して外国語学部の新設と専任の副学長を選任すること、ナゴヤドーム前に土地を購入して平成28年4月に新学部の開校を目指している旨のお話をいただきました。



あいさつをする岩崎会長

吉久新理工学部長からは応用化学科、メカトロニクス工学科の2学科の新設と機械工学システム科が機械工学科へ、建設システム工学科が社会基盤デザイン工学科へと名称変更により、より社会のニーズに応じていくように進めていること、入試制度の変更と理工系への人気の高まりにより受験生が27%増加した旨のお話をいただきました。

堀川校友会会長からは、名城大学校友会は177,000人を超える会員数を有し、毎年3,000から3,500人の新入会員(卒業生)を迎えている、その内1,000人余りが理工学部の卒業生であり全卒業生の1/3を占めている、今後も校友会活動並びに名城大学への支援には是非協力いただきたいとお話をいただきました。

引き続き、名城大学交通機械工学科の村上教授より「名城大学チームが省エネカーレースに参加して25年 2,000km/Lの記録を達成して」の題目で御講演をいただきました。鈴鹿サーキットでのレースの成果(学部部門で3年連続1位獲得、一般部門も含め総合4位)や機構や走行での苦労話の紹介があり、挑戦スタートから25年間、①元気な学生が居ることを内外にアピールする事で元気な学生が受験してくる、②車のエンジンについての知識がある、③ものづくりの工学基礎知識を活用する、④ものづくりは学生が行い教員は見守るだけ、をコンセプトに活動してきた事がこの成果につながったとの講演をいただきました。講演後の活発な質疑応答もあり好評の内に終了しました。

場所をタワー75に移し学内幹事の大江先生の司会で懇親会が始まりました。板橋常勤理事より大学の状況、4号館、2号館の建て替えも含めた天白キャンパスの今後の構想、入試の状況報告、名城大学開学100周年へ向けての理工同窓会並びに会員各員への協力のお願いについてお話をいただきました。

手塚理工学部後援会長より後援会活動の紹介と6月29日に行われる『父母のための進路セミナー』への理工同窓会の協力のお願いがあり、その後力強い乾杯の御発言をいただきました。

名城大学関係、校友会関係、後援会関係、各科同窓会の横の絆をより深める事が出来大変有意義な歓談となりました。今後とも会員の皆さまの御健康と御活躍をお祈りすると共に理工同窓会を盛り立てただけですようよろしくお願い申し上げます。なお、総会、記念講演会、懇親会の写真を理工同窓会ホームページに掲載しますのでご覧ください。



板橋常勤理事



懇親会の様子

名城大学技術士会 | <http://www.meijo-rikou-dousoukai.jp/gijutusikai>

名城大学技術士会は、名城大学を卒業した技術士で本会の趣旨に賛同する者を正会員等として構成する会です。(社)日本技術士会の理念のもと技術士に資する活動を行うとともに、母校名城大学の発展に寄与するため、技術情報の交流・連携・教育・研究への支援を行い、併せて地域社会に貢献することを目的に、平成20年2月に設立されました。今年で6年目を迎え、現在170名を超える会員で活動しています。

具体的な活動内容は、①年間2回の講演会の開催 ②技術士受検対策講座の開設として、(1)受検対策講座及び個別相談会 (2)二次試験筆記試験対策講座 (3)二次試験口答試験対策講座 ③JABEEコース修了生及び技術士補

試験合格者への指導技術士の紹介 ④大学技術士会連絡協議会との連携 ⑤理工学部長及び各学科長との情報交換会などの活動を行っています。

名城大学卒業生への技術士資格取得支援としては、平成20～24年の5年間で21名の技術士の誕生をみる事ができました。ちなみに、平成24年度の全部門の第二次試験合格者は、13.7%の狭き門となっています。

講演会活動としてはこれまでに10回の講演会を実施し、今年度も6月の総会時に電気電子工学科の村田英一准教授に「次世代薄型テレビフィールド・エミッション・ディスプレイについて」と題して講演をいただきました。また、年末には名城

大学技術士会と名古屋工業大学との合同の講演会を開催することとしています。それぞれの技術士会活動及び大学との連携内容等を知ることにより、名城大学技術士会の一層の発展に役立てていきたいと考えています。別途ご案内を致しますが、卒業生等のご参加をお待ちしております。

技術士の資格は、現在の建設界において卒業生が社会で活躍していく上でなくてはならない資格です。母校名城大学のさらなる発展につながる技術士の誕生を目指し、大学との連携をさらに強化し卒業生の技術士取得に向けて一層の努力をまいりますので、会員の皆さまはじめ大学関係者の皆さまには、今後ともご支援ご協力を宜しくお願い致します。



名城大学技術士会会長

高木 理仁

(理・土・S46年卒)

機械会 | <http://www.meijo-rikou-dousoukai.jp/kikaikai>

機械会は昭和32年に創立され、本年度56年の歴史を刻んで参りました。平成19年9月15日(土)には名古屋ガーデンパレスにおいて、設立50周年記念式典が盛大に開催されましたが、既に四年後に開催されます60周年に向かって準備をスタートしております。現在までの会員数は1万2,000名(校友会で把握されている会員は8,000名)。これも創立当時の大先輩から今日に至るまで会員の皆さまのご支援の賜物と、心より感謝を申し上げます。

平成25年度の機械会の主な事業計画案を報告致します。

- 1) 第56回機械会総会 … 平成25年6月16日(日)開催
- 2) 第56号機械会誌発行 … 6月初旬配布済み
- 3) 機械会杯及び機械学科長杯ソフトボール大会 … 9月に計画
- 4) 第5回機械会杯ゴルフ大会 … 平成25年9月8日(日)開催
- 5) 第13回機械会新春交流会 … 最下段に明細を掲載してあります
- 6) 機械会評議員会の開催 … 毎回ホームページに其の都度掲載(URLは機械会誌の表紙右上に掲載)

※上記事業の中で4)、5)の2事業については、会員の皆さま全員が参加出来る行事ですので、多数の方の参加をお待ちしております。

また、平成25年度から機械システム工学科はリニューアルされ、前学科名の機械工学科に戻り、新たなスタートとなりました。新入生は約25名少なくなりますが、これは理工学部に応用化学科、メカトロニクス工学科が誕生致しましたので、その分減員となりましたことをご報告致します。

尚、第13回の機械会新春交流会を下記のとおりに開催します。多数の会員の皆さまのご参加をお待ちしております。



機械会会長

澤柳 正道

(理・機・S41年卒)

第13回機械会新春交流会の開催のご案内

開催日:平成26年1月25日(土)

※時間は11月末～12月上旬に案内状をお届けします

場 所:名城大学天白キャンパス 15F レセプションホール

※第一部:講演会 第二部:懇親会

材料会 | <http://www.meijo-rikou-dousoukai.jp/zairyoukai>

平成24年度より材料会会長を仰せつかっております、中尾達郎です。材料会は平成25年4月で設立から10年目を迎えることができました。平成25年1月には、第一期から第五期までの卒業生を対象とした同窓会を盛大に執り行うことができました。また学部生への就職支援事業として、昨年度より材料会ホームページ上に卒業生の就職一覧を紹介させていただいております。本年度はさらに4月から学部生を対象に、資格取得支援も行っております。学部生の皆さま、卒業生の皆さまと学科をつなぐパイプ役となるよう、同窓会活動をさらに盛り上げていきたい所存です。



名城大学材料会新春情報交換会

●昨年度の主な活動内容

- 6月 材料会総会
- 10月 ソフトボール大会の支援
- 1月 名城大学材料会第1期同窓会の開催
- 2月 卒業研究発表優秀者表彰の支援
- 3月 卒業生記念品・祝賀パーティーの支援

●本年度の主な活動予定

昨年度の活動の他に平成26年1月11日に第3回名城大学材料会新春情報交換会を行います。



材料会会長

中尾 達郎

(理・材・H23年卒)

土木会 | <http://www.meijo-rikou-dousoukai.jp/dobokukai>

土木会の会員の皆さま方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。土木会は今年で四十九年目を迎える伝統ある会であります。土木会の会員数も土木工学科・建設システム工学科を合わせて1万人を超えるまでになり、各界で活躍をされています。

また、平成25年度からは新たに学科名が社会基盤デザイン工学科に変更になり、新たな学生を迎え大きく躍進することと思います。

また、今年の3月21日には研究実験棟Ⅱが完成し、旧4号館から、真新しい学舎に先生方が移られ、素晴らしい環境のもと執務を行ってまいります。土木会として、この研究実験棟Ⅱの完成にともない、正面玄関の横にナンジャモンジャの木一本の植樹と記念碑の贈呈を致しました。記念植樹の式典には、安藤理工学部長(当時)・原田学科長他7名の先生方、武藤渉外部事務局長と土木会の役員が出席し、式典を無事に終えさせていただきました。

さて、建設業界は安倍政権に変わったことで若干の明るい兆しが見えてきましたが、建設投資の減少、若年労働者の減少等、いまだ厳しい環境にあります。しかしながら日本社会の発展に欠かすことのできない社会資本整備を担う一員として、自負をもって、会員の皆さま方には益々のご活躍をお願いしたいと思います。

土木会としての主な事業活動は、恒例になりました年末情報交換会の開催、土木会誌の発行、在学生及び学科に対する各種支援活動等です。

また、土木会は平成26年10月25日(土)に、名古屋ガーデンパレスにて50周年記念事業を開催致します。現在、記念式典の開催・50周年記念誌の発行・職場別名簿の作成に着手したところであります。

微力ではありますが、この伝統ある土木会をより一層発展させるべく、最善の努力を行う所存でありますので、会員の皆さまはもとより、理工同窓会・大学関係者の皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い致します。



土木会会長

高木 理仁

(理・土・S46年卒)

第38回年末情報交換会のご案内

開催日:平成25年11月22日(金) 会場:レセプションハウス名古屋通信会館

交通機械会 | http://www.geocities.jp/traffic_ob_meijo_u

交通機械会は、同窓生、先生、在校生と3者が一体となった活動を柱に据え、昨年は奥出重宗・横森求両先生の退職記念会を出身ゼミ卒業生、教職員、4年生ゼミ並びに院生270名の賛同を得て、40数年の歴史ある先生の送別会に全力で取り組みました。また、卒業生名簿の整理、在職教員、在校生の交流が例年になく多く開催され、絶えず参加者の顔ぶれが違う雰囲気の中で交流が開催され大変有意義な活動ができました。

恒例の3年生を対象にした就職セミナーには、卒業後3～10年の卒業生に参加していただき、目指す企業へ挑戦する意気込みを感じさせられ、またゼミ対抗ソフトボール大会では、奥出ゼミ、横森ゼミが健闘され見事に優勝、準優勝されました。

賀詞交歓会は、例年の場所である東天紅で「物まね師 原一平様」に講演を依頼し、渥美清にまねた、寅さんが演じられました。そのほか震災義援金集めに終始し、高垣会長が参加者をお願いにまわり多くの義援金を集めることができ、校友会義援金部に納められました。

今年も例年の如く、卒業生、先生、在校生と三位一体で活動を考えています。平成25年度も昨年同様のスタイルで活動予定です。ホームページは、イベントを開催するたびに更新を予定しています。平成26年2月8日に賀詞交歓会を東天紅で開催します。関係各位の参加をお待ちしております。

(写真)交通機械会会長

高垣 満正(理・交・S48年卒)と原一平

原一平さんには交通機械会賀詞交歓会で、東北震災義援金支援に口添えいただきました。



名城大学電気会は昨年50周年を迎え、平成25年1月には「創立50周年記念誌」の発行と200名を超える参加者を迎え、記念式典を開催することが出来ました。「創立50周年記念誌」には、創立当初からの大学や授業関係の貴重な写真や歴代の先生方のお写真、各年代のOBの方々の言葉等を載せる事ができ、好評を頂いております。これもひとえに大学関係の皆さま、先生方やOB諸先輩の方々の多大なる御支援、御協力のお陰です。この場をお借りして御礼申し上げます。



電気会会長
渡辺 典保
(理・電・S56年卒)

今年は1つの節目を越えて、新たなスタートの年となります。電気会としても母校名城大学ならびに在学生、会員相互の協力、親睦を図るための事業活動を予定しております。会を維持していく上で1人でも多くの方の御参加が必要になります。電気会会員の方ならどなたでも参加できますので、周りの同窓の方をお誘いの上是非ともご参加されますようお願い致します。

●平成25年度 電気会 活動紹介

1. 研究室対抗ソフトボール大会支援とOBチーム参加 H25年9月を予定
 2. 新春懇談会の開催 H26年2月15日を予定
 3. 卒業研究発表 電気会からの聴講参加 H26年2月を予定
 4. 第48回 電気会総会、理工同窓会総会 H26年6月を予定
- ※名城大学電気会ホームページの更新 各行事案内・報告が有りますのでご覧になつて下さい

電気会 <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai/>

理工同窓会 <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/の学科同窓会からリンク>

第19回電気会新春懇談会開催のご案内

日時:平成26年2月15日(土) 15時30分～20時(15時より受付)

場所:名城大学天白キャンパス タワー75 15階 レセプションホール

第一部:ミニ講演会 第二部:懇親会

会員の交流・親睦・人と人の絆を深め...

名城大学理工学部環境創造学科環境会同窓会会員の皆さま方におかれましては、各地域、各界各層においてご活躍の事とお慶び申し上げます。また、平素から同窓会活動にご理解並びに協力をお願いし、厚く御礼申し上げます。環境創造学科環境会同窓会は、会員相互の交流・親睦を図り、名城大学理工学部環境創造学科の発展に寄与することを目的としています。

このたび環境会第4回懇親会・10周年記念行事を開催しました。今年で環境会創立10周年を迎えたことを記念した会で、先生方、会員、準会員に出席いただきました。第1部では杉山範子会員(名古屋大学大学院環境学研究科特任准教授)による「持続可能な社会づくりを考える」と題した記念講演を、第2部では環境会第4回懇親会・10周年記念式典が行われ、平成25年度3月に新築された環境創造学科研究実験棟Ⅱ完成の記念品の贈呈目録(ディスプレイ パナソニックTH-L55ET5 14台)を酒巻学科長に手渡しました。その後の懇親会では、先生方や会員、準会員の歓談がなかなか続けられました。

また名城大学理工学部環境会 会報(名簿会誌) 研究室所属会員名簿(第三号)を発行し、会員数は環境会発足して10年目で1,050名ほどになりました。

●平成25年度の主な活動行事

- 5月:環境会評議会の開催 / 6月:環境会総会 / 7月、11月、1月:環境会役員会
4月～11月:環境創造学科活動への援助(高校生・環境エッセイコンテストほか)
4月～3月:環境会ホームページの管理・更新
11月:環境会入会・会則説明会 / 2月:環境会親睦会(懇親会)
3月:卒業生の記念品、祝賀パーティー援助等を環境会行事として計画しています。

当会の同窓会活動はまだ基礎づくりの過程ではあります。今後とも、環境会の各種行事等に多くの卒業生の皆さま方に参加していただき、交流・親睦を図ることにより人と人との絆を深め、会員、諸先輩のお力添えをいただき、学部学生や諸先生方との連携も密にし、名城大学理工学部環境創造学科のより一層の発展とともに、環境会としての諸活動を行うことができるように努力したいと思います。皆さまのご支援後協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



環境会会長
渡辺 顕造
(理・環境創造修
H16年卒)

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
名城大学理工学部環境創造学科事務所内 環境会
TEL:052-838-2062 FAX:052-838-2356
E-mail:rkoffce@ccomfs.meijo-u.ac.jp

環境会はホームページを開設いたしておりますのでご覧ください。

環境会

検索

●数学会の活動紹介

1. 数学会総会:6月7日開催
2. 第21回数学教育研究会の支援
(イ)名城大学附属高等学校教諭 野泰行氏「いろいろな教材」
(ロ)名城大学理工学部数学教授 西鎮男氏「複素数の幾何」
3. (イ)数学科卒業生のうち、学業優秀者表彰の支援
(ロ)卒業生への記念品贈呈 卒業パーティー助成
4. 就職支援活動
(イ)企業、教員、数学会3者による
企業交流会(年7回 交流会開催)
(ロ)各社人事担当者ならびに
社長、取締役、部長等から、学生や
院生に対する就職説明講演
(年7回 説明会開催)



数学会会長
中山 俊一
(理・数・S32年卒)

平成24年度 数学会役員

会長
中山俊一(S32年卒)
副会長
前島利夫(S42年卒)
渡辺孝夫(S56年卒)
幹事
宇野弘(S52年卒)
堀田洋一(S58年卒)
片野泰行(H元年卒)
岡田日出男(H16年卒)
水谷真人(H20年卒)
名桐大策(H21年卒)
墨高大(H22年卒)
監査
松井治英可(H9年卒)
学内幹事
橋本英哉(学科教員)

今年は建築同窓会が昭和38年9月に発足してから50年の節目を迎え、我が校も創立80周年を過ぎ、建築学科も昭和22年に名古屋専門学校応用物理学科建築分科として発足して以来65周年を迎える事となります。大学当局及び諸先輩を始めとする会員各位の長きに亘る御協力の賜物と、篤くお礼申し上げます。また会員の皆さま方には、混沌とした社会情勢の中にもかかわらず、各地域・各界各層において貢献され、活躍ぶりを耳にするにつけても、心強く、また励みとしていところであります。

建築学科同窓生は在籍の学生会員も加えると1万2,000名目前となり、この大勢の同窓会員の皆さまが50年の歩みを支え今日を迎えた訳であります。同窓会の歩みを知るうえで、毎年会員の方々にお送りしているこの会報の発刊があります。今年で41版目となり、表紙の故中田武教授の題字は、これからも同窓会活動に力を与えて下さるものと思います。

今回の周年記念事業の一環として、18回を迎える新春の情報交換会の中で「65／50」と銘打ち記念式典を開催。この同窓会が「会員相互の情報交換・交流の場」として「地域社会に貢献できる会」として発展継承されていくために、努力する必要性を再認識したところでもあります。また地域を主体としたネットワークの支部活動も15年を超え、更なる発展を遂げるべく活動して頂いております。

新企画として、学科の先生方と在学生、修了生や新旧卒業生の皆さまの大勢の参加を得て天白キャンパスで開催する「大交流会」は、学科と同窓会、学生と実務社会人等「タテ・ヨコの絆」の始まりとなればと、今後も期待するところであります。

また、例年の6月の総会にあわせて、新しく竣工を迎え、建築科の皆さんが利用する建物の「施設見学会」の開催を行い、周年事業を完結致しました。

記念事業への協賛やご寄附をいただいた皆さま、記念誌への広告掲載や御寄稿をいただいた各位、並びにご尽力いただきました同窓会関係の方々には篤くお礼申し上げますとともに、皆さま方のご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶いたします。



建築同窓会会長
小木曾 森司
(理・建・S48年卒)

情報会では毎年、学術支援の一環としてさまざまな事業を行っています。今年は以下の事業を行いました。

スポーツ大会:年に1度、賞金を懸けたスポーツ大会を開催しています。今年はフットサル大会を行い、多くの方に参加していただきました。中には教授が主体となったチームもあり、研究室の枠を超えた交流が出来ていたように思えます。

情報祭:年に1度、情報会役員のOB・OGの方をお招きし、食事会をするイベントです。今年は特に院生の参加者が多く、先輩方との歓談を楽しんでいました。

卒業記念パーティー:卒業式の当日に卒業生の方をお招きし、卒業記念パーティーを行っています。今年は会場としてホテルを使用し、ほとんどの卒業生の方に参加していただきました。また、今年のパーティーではビンゴ大会が行われ、大変な盛り上がりを見せました。



ベストプレゼンター賞:素晴らしい卒業研究発表を行った方をベストプレゼンターと称し、表彰を行っています。今年は、金賞1名、銀賞2名、銅賞9名が選ばれ、金賞の方には賞状と共に発表した論文の名前が彫られた盾が贈られました。

その他:今期はこれらの事業以外にも、オープンキャンパスの差し入れや、去年退職なされた阿知葉先生の退職記念パーティーの支援等を行いました。

●情報会の今後について

情報会ではこのようにさまざまな活動を行ってまいりました。来期で第10期を迎えます。そのため来期はこれらの活動に加え、10周年事業を行う予定です。ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。



情報会会長
濱咲 侑也
(理・情・H24年卒)

経友同窓会

経友同窓会役員名簿

〔任期〕平成24年4月1日～平成26年3月31日

役職	氏名	卒年
会長	中村 友美	S55
副会長	高橋 光好	S45
	佐藤 修	S53
	阪納 正通	S54
	近藤 哲生	S59
書記	才木 亮嗣	H17
	渡邊 智哉	H19
会計	藤井 徹	H17
	渡邊 祐樹	H18
常任幹事	加藤 浩一	S53
	三浦 亙	S56
	大久保 公滋	S58
	武藤 正美	S62
	古幡 昭英	H4
	山内 康裕	H4
	尾崎 浩一郎	H5
	岩本 崇宏	H7
	森 幸治	H8
	後藤 健太郎	H9
	石原 正史	H12
	木下 裕康	H14
	川合 聡	H14
	高嶋 泰道	H15
	角田 哲也	H18
	池田 哲也	H18
	岡部 綾	H19
監査	大脇 肇	S54
	阪納 康之	S61

平成25年度事業計画

- 卒年幹事の見直し
- 会員相互のコミュニケーション
 - 幹事会(5月)
 - 新春交流会(1月)
 - 会員間交流(親睦会)
 - 青年部会(親睦会等)行事
 - 情報の提供(大学・会員等の動向)
 - 会員の職域別活躍状況の把握
 - 支部総会、会計人会等への参加、支援
 - クラス会・ゼミ会開催の推進
 - 卒業30周年ホームカミングデイへの協力(11月)
 - スペシャルホームカミングデイへの協力(3月)
- 準会員への援助
 - 経友同窓会奨学金の給付
 - スポーツ・文化・学術優秀団体等への支援
 - 卒業祝賀会への支援
- 卒業生評議員との意見交換(随時)
- 経営学部・経済学部との連携強化
 - 大学院経営学研究科・経済学研究科との相互協力による「名城経営・経済セミナー」の開催(6月26日、7月24日、10月23日、11月27日)
 - 学部長・学科長・協議員・事務長との懇談(5月)
 - 学部行事への支援
- ホームページの充実
- 各種委員会の活用による会活性化の推進
- その他

予算・決算報告

平成24年度 一般会計収支決算書		平成25年度 一般会計収支予算書	
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)		(平成25年4月1日～平成26年3月31日)	
収入の部		収入の部	
(単位:円)		(単位:円)	
科目	決算額	科目	予算額
校友会援助金	2,668,000	校友会援助金	2,180,000
会費	320,500	会費	500,000
受取利息	516	受取利息	1,000
雑収入	31,000	雑収入	10,000
積立金繰入	0	積立金繰入	0
前年度繰越金	2,022,412	前年度繰越金	2,416,936
合計	5,042,428	合計	5,107,936
支出の部		支出の部	
(単位:円)		(単位:円)	
科目	決算額	科目	予算額
援助費	583,099	援助費	800,000
総会費	180,000	総会費	250,000
会議渉外費	279,836	会議渉外費	400,000
事業費	878,861	事業費	1,600,000
消耗印刷費	19,097	消耗印刷費	50,000
旅費交通費	25,336	旅費交通費	80,000
慶弔費	21,105	慶弔費	50,000
通信運搬費	81,738	通信運搬費	120,000
組織強化費	0	組織強化費	200,000
奨学金	200,000	奨学金	200,000
ホームページ維持費	126,420	ホームページ維持費	250,000
積立金	200,000	積立金	200,000
雑費	0	雑費	10,000
予備費	30,000	予備費	897,936
次年度繰越金	2,416,936	次年度繰越金	0
合計	5,042,428	合計	5,107,936

理工同窓会

理工同窓会役員名簿

〔任期〕平成25年5月1日～平成26年4月30日

役職	氏名	卒年
会長	岩崎 征一	建・S41
副会長	澤柳 正道	機・S41
	渡辺 典保	電・S56
	高木 理仁	土・S46
	高垣 満正	交・S48
	小木曾 森司	建・S48
常任幹事	村松 良章	数・S38
	三宅 孝征	情・H24
	中村 千尋	材・H21
	渡辺 顕造	環・H16
学内幹事正	岡田 恭明	建・H3
	大島 成通	
	中島 公平	交・S61
学内幹事副	山田 宗男	電・H9
	上山 智	
	日比 義彦	土・S57
幹事	宇野 弘	数・S52
	渡邊 孝夫	数・S56
	長谷川 克臣	情・H24
	谷澤 啓介	情・H24
	開米 和明	電・S47
	岩室 隆	電・S45
	松岡 道弘	機・S42
	祖父江 力三	機・S45
	松原 由布子	材・H23
	中島 啓介	材・H24
	小川 芳孝	交・S48
	岩間 守正	交・S50
	田島 功	土・S48
	鈴木 祥隆	土・S46
	石川 豊	建・S47
	下地 康夫	建・S47
	永井 功	環・H17
	大石 康男	環・H16
監査	小林 信之	土・H8
	藤井 恵介	材・H24

平成25年度事業計画

平成25年度理工同窓会活動においては、大学との連携を基に会員相互の「絆」を深め会員への情報発信を行う。また、後援会、校友会等との同窓の「絆」を広げるため下記の活動を行う。

- 平成25年度理工同窓会が各種同窓会との情報交換会の開催(講演会、懇親会も併せ行う)
- 理工学部長及び各学科長との情報交換会の実施(年1～2回を予定)
- 理工学部後援会が行う事業に支援・協力し定期的に意見交換会を実施
6月29日(土)11時から開催される理工学部後援会主催の「父母のための進路セミナー」に9学科同窓会が主になって参加し、学生の父母の皆さん方に理工同窓会＝各学科同窓会の存在価値等を認知して戴く活動をする
- 校友会報への理工同窓会便りの掲載
理工同窓会便りの充実(7月発行予定)
- 各科同窓会活動支援のための助成金給付
(周年事業を開催した場合の支援金も含む)
- 平成26年3月をもって定年退職またはそれに準ずる先生方に記念品を贈呈
- 新入会員(平成26年3月卒業生)に記念品を贈呈
- 理工同窓会ホームページの年4～6回の更新による的確な情報発信
理工同窓会ホームページをより充実させるための各科同窓会参加および原稿の集積を図る
- 準会員に対する就職支援活動の実施を行う
- 平成26年度理工同窓会総会をH26年6月15日(日)で立案する。

予算・決算報告

平成24年度 一般会計収支決算書		平成25年度 一般会計収支予算書	
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)		(平成25年4月1日～平成26年3月31日)	
収入の部		収入の部	
(単位:円)		(単位:円)	
科目	決算額	科目	予算額
前年度繰越金	2,355,524	前年度繰越金	1,791,347
会費(校友会助成金)	4,152,000	会費(校友会助成金)	3,920,000
雑収入	154,723	特別会計より取り崩し	1,000,000
雑収入	0	雑収入	0
合計	6,662,247	合計	6,711,347
支出の部		支出の部	
(単位:円)		(単位:円)	
科目	決算額	科目	予算額
下部組織助成金	2,400,000	下部組織助成金	2,400,000
記念品代1(卒業記念品代)	500,000	記念品1(卒業記念品代)	500,000
記念品代2(退職教員記念品代)	110,000	記念品2(退職教員記念品代)	200,000
総会費	860,000	総会費	1,000,000
広報活動費	72,975	広報活動費	200,000
会議費	310,200	会議費	400,000
事業費	519,044	事業費	300,000
交通費	12,760	交通費	50,000
事務費	13,421	事務費	50,000
慶弔費	72,500	慶弔費	100,000
記念事業積立金	0	周年事業祝金(建築会)	500,000
予備費(義援金、支援金等)	0	周年事業祝金(電気会)	500,000
次年度繰越金	1,791,347	記念事業積立金	500,000
合計	6,662,247	予備費	11,347
		(支援金、平成25年度前期の運営費含む)	
		合計	6,711,347

※H20年度に校友会費を支払った学生数(学部968+大学院12)×4,000円